

# ~ Serendipity ~ vol.2

2017(平成29)年5月15日(月)

鎌田中学校 生徒指導“通心” 大西 恵

## 【生徒指導からの最初の話】

1年生は参加していないので聞いていませんが、2・3年生の皆さんは、4月の始業式で、先生が話した内容を覚えていますか？教頭先生から初めての生徒指導の仕事と紹介されて、先生が皆さんの前に出ました。あのとき話したのは内容的には2つで、1つ目は『基準が上がる』、2つ目は『正しく聴く』でしたが、ここで改めて内容を振り返りたいと思います。

### 『基準が上がる』

1年生は小学生から中学生となり、“校則(生徒の心得)”を守ることが求められます。生徒の心得は先週配ってもらいましたね。なぜ、校則を守る必要があるのかを、ぜひ考えてみてください。

2年生は後輩の目を気にした、先輩として相應しい態度が求められます。その為には、校則を守ることは当然ですが、それで十分とはいきませんね。後輩がついて行きたくなるのはどのような背中でしょうか？1年生に格好いい先輩の背中を見せてあげてください。



3年生はいよいよ中学生生活最後の年。今年で義務教育を終え、社会を自分の足で歩み出すこととなります。そこに必要なものは、“責任”であり、“自己のコントロールです”。

### 『正しく“きく”』

問題です。“きく”に使う漢字は何でしょうか？“聞”or“聴”??

“聞く”の意味は、『意識しないで、耳に入ってくる音を受け入れる』ことで、英語では“hear”です。対して“聴く”の意味は、『積極的に意識して音に耳を傾ける』ことで、英語では“listen”です。

どちらが正解かは明らかですね。

聴くことに  
全力を尽くす  
時間は  
相手の信頼に  
比例する

始業式では、『正しく“きく”』の意味を、『話の内容を正確に理解すること』と説明しました。その準備として、『話をしている人を見なさい』と言いました。さて、皆さん、今学校で先生方が話をされている時、お家で保護者の方に喋りかけて頂いた時、どうしていますか？

また、理解のレベルを上げる為に、『話の前後を考えなさい』とも言いましたが、覚えていますか？

いずれのこともできるようになれば、勉強だけではなく、日常の人間関係においても非常に役立つことです。ぜひ、実行していきましょう。

ところで、“きく”には、もう一つ漢字があるのを知っていますか？

“訊く”です。意味と英単語は皆さんそれぞれで調べてみてください。これができる人は、成長速度が上がりますよ。素直に“訊く”ようにしましょう。

5月になって、気温も随分と上がってきました。集中力が途切れがちになる今こそ、『正しく“きく”』ことを意識し直してみましょ!!

～今日の言葉～ 【点滴穿石(てんてきせんせき)】

意味：微力でも根気よく続ければ、大きなことを成し遂げることができることのとえ。

Constant dropping wears away a stone.

